

附属図書館の 課題

D班



付属図書館に対するイメージ

BAD

- ・ 逃げ出したくなる
- ・ 堅苦しい
- ・ 話せない
- ・ 友達と行こうと思えない
- ・ 読みたい本がない
- ・ 閉ざされているような気がする

GOOD

- ・ 勉強しやすい
- ・ 落ち着く
- ・ 本がたくさん
- ・ 情報を集められる
- ・ 施設がたくさん
- ・ 集中できる

図書館に対する
これらのイメージから・・・

全員が満足している
わけではない

そこで、

私たちは**第三の場所**を
提案します！

第3の場とは！！！！！！！！！！！！！！！！！！！！

- ◆ 第一の場 . . . 家庭
- ◆ 第二の場 . . . 学校や職場
- ◆ 第三の場 . . . 人々の居場所になるところ

第三の場所

```
graph LR; A[第三の場所] --- B[集中]; A --- C[交流];
```

集中

交流

集中と交流とは??

- ▶ **集中** . . . 適度に一人になれる環境
- ▶ **交流** . . . 適度に会話できる環境





▶お話を聞いた丸田さん





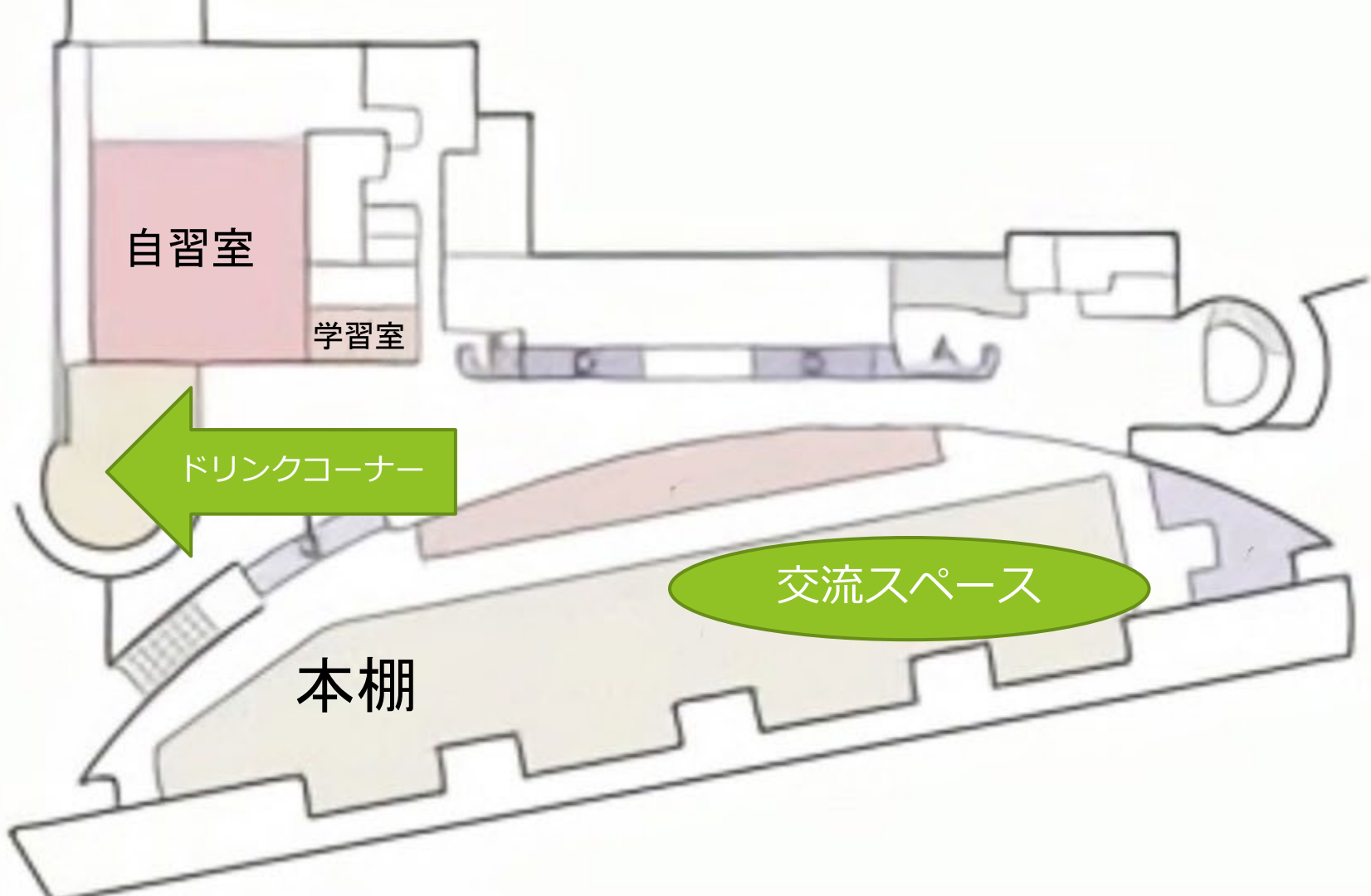
丸田藤子さん

- ・長野オリンピック・パラリンピックでのボランティア約3万2000人のリーダーを務めた。

実際にできそうなこと

- ▶ 病院の待合室に流れてるような静かな音楽を流す
- ▶ 観葉植物・造花などを置き、緑化をしてリラックス空間を作る
- ▶ レストランにあるようなドリンクバー、コーヒーバーを設置する
- ▶ 一定期間借りられなかった本を廃棄または他の図書館へ送ることで空間を確保する
- ▶ アンケートを取り、より学生が欲しがっている本を確保する





自習室

学習室

ドリンクコーナー

交流スペース

本棚

参考文献

著者名 : サイト名 : リンク元

山田雄介 : WORK MILL :

https://workmill.jp/webzine/20160329_report2.html

久野和子 : 「第三の場」としての図書館 :

https://www.library.pref.kyoto.jp/contents/wp-content/uploads/2016/07/25_1_kuno.pdf

ご清聴ありがとうございました